

学校 教育 目標	【学校教育目標】「共に学び、自他を大切にし、たくましい、心豊かな人を育てます」				
	○主体的に考え、対話をしながら将来にわたって意欲的に学び続ける人を育てます。(知) ○社会の形成者として、共によりよく生きる、自立心にあふれた心豊かな人を育てます。(徳) ○運動やスポーツに親しみ、心身ともに健やかでたくましい人を育てます。(体) ○横浜を愛し、協働しながら課題解決をはかり、広く社会に貢献する人を育てます。(公) ○多様性を尊重し、共生しながら持続可能な国際社会の実現に向けて行動する人を育てます。(開)				
学校 概要	創立 72 周年	学校長 生出 宏	副校長 吉田 岳雄	3 学期制	一般学級: 23 個別支援学級: 4
児童生徒数: 906 人 主な関係校: 大綱小学校・太尾小学校・大豆戸小学校・菊名小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<社会で活用できる知識・技能> <未知の状況に対応できる問題発見と解決能力> <多様性を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力>	大綱中学校 大綱小学校 太尾小学校 大豆戸小学校 菊名小学校	○主体的に学習に取り組む子ども ~学び合う~ ○あいさつができ、友だちや地域との関わりを大切にすることも ~関わり合う~ ○自分の良さを活かしながら夢や希望に向かってチャレンジする子ども ~未来を創る~ ・各教科で身に付ける力の共通理解を図る合同授業研究会を実施。 ・目指す子ども像について、視点を確認する合同研修会を実施。 ・定期的に中学校職員による小学校参観を実施。

中期取組目標 ○指導力・授業力・組織力の向上により、魅力ある学校づくりを目指します。 ・対話による学び合いの姿勢を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力を育みます。 ・困難に立ち向かい、多様性を尊重し、思いやりのある姿勢を育み、いじめのない学校風土をつくりまします。 ・挨拶から始まるコミュニケーションを大切に、実生活や将来につながる生活態度を身に付けさせます。 ・教職員集団としての協働性を尊重し、日常の教育活動を推進します。 ・保護者や地域との連携を大切に、地域に貢献しようとする姿勢を育みます。

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知 担当 学習指導部	①「主体的・対話的で深い学び」「各教科の見方・考え方に基づく指導」に向け、意見交換しながら、多面的・多角的な見方や考え方を深め、互いに知恵をはたらかせて問題を解決する力を育む。②生徒の反応を大切に、教科横断的かつ社会とつながる視点での授業改善をはかる。
豊かな心 担当 特活指導部	①生徒会の「いじめ防止プロジェクト」を継続し、生徒の当事者としての自覚を高め、いじめを許さない学校風土の確立に専心する。②宿泊行事、体育祭、合唱コンなどの行事や道徳、日々の学習、部活動を通して、自己肯定感を育てるとともに相手の存在を大切にすることを育てる。
健やかな体 担当 保健指導部	①食育推進など健康の在り方についての学習を広める方法として、外部専門家→学校保健委員会→代表生徒→一般生徒という流れを継続する。②運動部の怪我やスポーツ障害に加えて、体育実技の授業における怪我の発生を予防するために新聞などの啓発活動を充実させる。
生徒指導 担当 生活指導部	①年間3回設定の教育相談週間を継続し、外部機関との連携をとりながら着実に課題の解決をはかっていく。②生徒による主体的な教育活動により、役割や責任を自覚し、自分から学び、自分で自分を指導していくような自己学習力や自己指導能力を育成していく。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①個々の生徒が抱える特性を理解し、多様性を尊重するために、学習面や行動面での合理的配慮などに関する事例研修会を年3回以上実施する。②生徒を取巻く教育環境を向上させるために、スクールカウンセラーやSSWなど関係諸機関との連携を積極的に行う。
地域連携 担当 渉外部	①体育祭、合唱コンなどのPR活動、部活動発表会への招待、地域事業所と連携した教育活動、学校HP(大綱デイズ)による日々の教育活動の情報発信など、地域と双方向の協力体制を今後も深めていく。②保護者・地域との粘り強い連携により、いじめが起これない風土づくりを目指す。
キャリア教育 担当 学習指導部	①職業講話、職業調べ等を実施し、働くことの意義と責任について学ぶ。②平和学習、校外学習などを通して探究的な学習に取り組みせ、課題設定力・問題解決能力を育成し、社会の一員としての自覚をもたせ、これからの自己の生き方を考えることができるようにする。
いじめへの対応 担当 いじめ防止委員会	①「自他を大切にし」の学校教育目標のもと、誰もが安心して教育活動に参加し、自己肯定感を高め、子どもが主体のいじめを許さない学校風土の確立に専心する。②校長をリーダーに、定期的な「いじめ防止対策委員会」を開催し、速やかに関係機関と連携をとりながら解決をはかる。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務部など	①職員室アシスタントを活用して、子どもの指導に専念できる環境を整える。②教職員一人ひとりの資質向上のため、授業力、生徒指導力など実践力養成に役立つテーマを設定したメンター研修などを実施する。③休養日の設定、部活動指導員の積極的な活用など持続可能な部活動の在り方を検討し、進める。